RIC
www.kelpak.co.jp
SINCE 1979

南アフリカ産 巨大海藻エキス

海からの贈り物

人と地球にやさしい環境保全型農業に

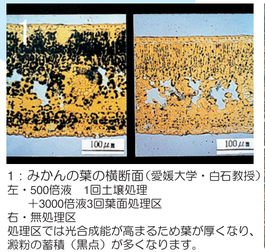
120mℓ, 1ℓ, 5ℓ, 10ℓ, 25ℓ 入り

生育が旺盛・健全になり、
根量が増え光合成能が高まります。

海からの贈り物 ケルパック®66の特長

効果その1 光合成能が高まります。

葉緑素が増え、葉が厚くなるため光合成能が高まり糖の蓄積が進みます。



1：みかんの葉の横断面（愛媛大学・白石教授）
左・500倍液　1回土壌処理
　＋3000倍液3回葉面処理区
右・無処理区
処理区では光合成能が高まるため葉が厚くなり、澱粉の蓄積（黒点）が多くなります。

2：ゆり（長崎県）
左２列・無処理区
右２列・500倍液1回灌水区
処理区は葉緑素が増えるため、葉は濃緑となり、株全体に勢いがあります。

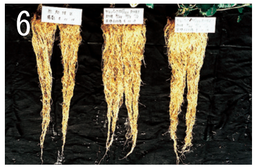
効果その2 根量が増えます。

根張りが良くなるため肥料の吸収効率がアップします。

3：山東菜（電力中央研究所）
左・無処理区
中・1500倍液100mℓ 1回灌水区
右・1500倍液100mℓ 2回灌水区

4：ぶどう挿し木（山梨県果樹試験場）
左・挿し木時に1000倍液1回灌水区
中・アミノ酸有機液肥100倍液1回灌水区
右・無処理区

5：梨苗木（栃木県農業試験場）
左・原液３mℓ／樹灌水区（水1ℓにうすめ）
中・原液１mℓ／樹灌水区（水1ℓにうすめ）
右・無処理区



6：いちご・女峰（静岡県農業試験場）
左・無処理区
中・原液100mℓ／10aを1000倍にうすめ灌水
右・原液150mℓ／10aを1000倍にうすめ灌水

効果その3 生育が促進されます。

光合成能が高まり根量が増えるため、生育が旺盛になります。葉は厚く、茎は太く丈夫な作物ができます。また、花芽の着生がよくなります。

7：水稲・ササニシキ
（宮城県桃生郡・日野農場）
田植え：平成10年5月1日
ウェット粒剤処理：5月3日
左・ケルパック処理区
右・無処理区
処理区の根は、根数、根量とも多く、太く、長い。また茎が太く、緑色が濃い。
平成10年5月13日撮影

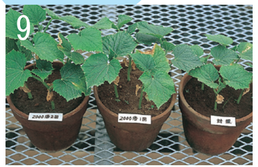
8：いちご（農林水産省野菜茶業試験場久留米支場）
左・無処理区
右・3000倍液散布区

7’：水稲・ササニシキ
（宮城県桃生郡・日野農場）
平成10年5月3日と6月14日の2回、ケルパック66（ウェット粒剤）処理。
左・ケルパック66（ウェット粒剤）処理区
右・無処理区
処理区は生育が促進され、すでに幼穂期に入っている。
平成10年8月21日撮影

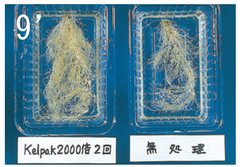
7の試験は、上記7’を経て下記7”に至る。

効果その4 線虫の被害が軽減されます。

本資材には殺線虫力はありませんが、次から次へと補償根が出るため線虫が寄生しても地上部への影響は少なくて済みます。根菜類以外の地上部を収穫する果菜類、葉菜類の有機栽培、減農薬栽培に適した資材です。



9：きゅうり（千葉大学園芸学部植物病理学・平野教授）
左・2000倍液500mℓ 2回灌水区
中・2000倍液500mℓ 1回灌水区
右・無処理区



9’：きゅうり（千葉大学園芸学部植物病理学・平野教授）
左記（9）きゅうりの根の状態
左・2000倍液500mℓ 2回灌水区の根
右・無処理区の根

効果その5 品質が向上し、増収します。

ケルパック66を使用した作物は、最終的に品質が良くなり増収します。

7”：水稲・ササニシキ（宮城県桃生郡・日野農場）
処理区の方が茎葉および穂の光沢が良く、穂が重い。平成10年9月19日撮影
左・ケルパック66（ウェット粒剤）処理区　　右・無処理区（左の圃場隣）
収量：564kg、　食味計（サタケ）：82　　収量：500kg、　食味計（サタケ）：76

10：りんご（さんさ）／長野県上田市 麻蒔園
葉が巻き込み立ち上がるため、果面に当る光量が増え、着色がよくなり糖度が上がります。

11：みかん（温州）／佐賀（JA松浦東部）
着色がよくなり、糖度が上がります。また樹勢が回復するため隔年結果がなくなります。

12：トマト／栃木県芳賀町
着果が良くなり、成り疲れなく、空洞果が少なくなります。また、秀品率が高まり、増収します。

13：トルコキキョウ／長野県
ロゼット打破効果有り。生育がそろい、草丈がよく伸び、鮮明な大輪花が咲きます。

増収、食味・品質向上に。

ケルパック66とは

ケルパック66は、南アフリカ産巨大海藻「エクロニア・マキシマ（草丈12~13m、茎の直径7~8cm）」から抽出した100%海藻エキス。
ケルパック66を使用した農作物は、生育が旺盛・健全になるため根量が増え光合成能が高まります。
その結果、増収し、食味・品質向上が期待できます。
これは、アミノ酸、ミネラル、ビタミン、多糖類、植物ホルモンなど66種にも及ぶ含有成分（表参照）の複合作用によるものです。

ケルパック66液体成分表（原液1ℓ中の含有量w/w）

◆多量・微量要素

粗蛋白	2.0ｇ
炭水化物	12.0ｇ
リン酸	8.0ｇ
カリウム	5.0ｇ
窒素	3.5ｇ
カルシウム	0.5ｇ
ナトリウム	0.5ｇ
硫黄	0.4ｇ
マグネシウム	150.0mg
鉄	8.0mg
ヨウ素	6.0mg
マンガン	5.0mg
亜鉛	2.5mg
ルビリウム	1.5mg
フッ素	0.2mg
ニッケル	0.2mg
モリブデン	0.2mg
ホウ素	0.15mg
コバルト	0.2mg
銅	0.1mg

◆アミノ酸

アラニン	150mg
セリン	140mg
プロリン	92mg
スレオニン	84mg
リジン	80mg
ロイシン	72mg
バリン	70mg
グリシン	70mg
オルニチン	63mg
チロシン	60mg
フェニルアラニン	60mg
アルギニン	48mg
イソロイシン	40mg
グルタミン酸	35mg
アスパラギン酸	31mg
ハイドロキシプロリン	27mg
メチオニン	25mg

◆植物ホルモン

オーキシン様物質	11.0mg
サイトカイニン様物質	0.031mg
ジベレリン	痕跡程度
ＡＣＣ(エチレン前駆体)	痕跡程度

◆ビタミン類
B_1 , B_2 ,Ｃ,Ｅ,葉酸,
ナイアシン,カルシウムパントテン酸,
痕跡程度

*天然物ですので収穫時期等により成分は多少異なります。

ケルパック66 はこのような時にお使い下さい。

- 移植時の活着促進に。根の一層の伸長を図りたいときに。
- 樹勢回復、草勢回復に。成り疲れ防止に。
- 低温、日照不足時に。徒長防止に。
- 果実の肥大、着色、うまみ、糖度、硬度を高め、増収を図りたいときに。
- 花の色を鮮明にし、高品質の大きな花を咲かせたいときに。
- 水稲の食味アップ、増収に。倒伏軽減、イモチ被害軽減に(＊1)。

（＊1）生育が旺盛になりケイ酸吸収がよくなるため、葉や茎などの表面にケイ化細胞が形成され硬化するからです。

- ダニ被害葉の蘇生回復に(＊2)。

（＊2）根・葉からの養分吸収がよくなるために赤茶けた被害葉に緑が戻り樹勢が回復します。

発売元

ロイヤル インダストリーズ株式会社
〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
TEL 03(3489)1408　FAX 03(3489)9308

2024.01

ケルパック66の使用方法

- 表中の処理時期又は処理方法にA,Bとある場合は、いずれか都合の良いものを1つ選んで処理して下さい。
- スペースの都合上、ここには代表的な使い方のみを記載しました。各作物に対する詳しい使い方については、資料を差し上げますのでご請求下さい。

作物	処理時期	処理方法	原液処理量	使用（処理）濃度	回数
水稲	緑化期と田植え1~3日前	潅水	1mℓ/m²（マット5枚当たり）	1000~2000倍	育苗期2回
	田植時~穂ばらみ期	散布、ペースト肥料と混用、または水口から流し込み	200~300mℓ/10a	―――――	本田1~2回 代わりに「ウエット粒剤」を散布してもよい
麦・とうもろこし	2~3葉期	葉面散布	100mℓ/10a	500~1000倍	1回
	幼穂形成10~14日前	葉面散布	120mℓ/10a	500~1000倍	1回
	出穂期~登熟前期	葉面散布	120mℓ/10a	500~1000倍	1回
大豆・小豆・いんげん・絹さや・そらまめ・落花生	3~4葉期	葉面散布	100mℓ/10a	500~1000倍	1回
	着蕾10~14日前	葉面散布	150mℓ/10a	500~1000倍	1回
トマト、ピーマン、なす、オクラ、メロン、西瓜、きゅうり、カボチャ等の果菜類	鉢上げ時	潅水	―――――	8000~10000倍	1回
	定植直前	ポットへ潅水	―――――	5000~6000倍	1回
	定植時処理から3~4週たったら	A 葉面散布	70~100mℓ/10a	2000~3000倍	2~3週おきに5~9回（メロン、西瓜等3~4回）
		B 土壌処理	250~300mℓ/10a	2000~10000倍	1ケ月おきに3~5回（メロン、西瓜等1~2回）
いちご	ランナー採り期間	葉面散布	―――――	3000倍	9~10回
	定植時	A 根部浸漬	―――――	3000倍	1回
		B ポット潅水	―――――	10000倍	1回
	定植後マルチ前1番果・2番果が雑指大のとき1番果・2番果収穫後又びそれ以降	土壌処理	250~300mℓ/10a	3000~10000倍	3~4週おきに6~8回
葉菜・根菜・ねぎ・ビート	直播栽培：2~3葉期以降	葉面散布	生長に合わせ70,100,120mℓ/10aと増量する。	1000~2000倍	2~3週おきに2~3回
	移植栽培：定植時	A ポット浸漬(潅水)	―――――	5000倍	1回
		B 根部浸漬	―――――	2000倍	1回
	定植時処理から2~3週後とそれ以降	葉面散布	100~130mℓ/10a	1000~2000倍	2~3週おきに2~3回
馬鈴薯	種子消毒時	タネいも瞬間ドブ漬	―――――	1000倍	1回
	本培土直後（ストロン伸長停止後）	葉面散布	130mℓ/10a	800倍	1回
	2週後	葉面散布	150mℓ/10a	700倍	1回
さつまいも	たね芋伏せ込み時期	苗床潅水	―――――	8000~10000倍	1回
	定植時	さし穂浸漬	―――――	1000倍	1回
	定植3~4週後	葉面散布	150mℓ/10a	700~1000倍	1回
やまといも・こんにゃく	定植時	タネいも瞬間ドブ漬	―――――	無発芽いも:1000倍 発芽いも：3000倍	1回
	A 定植時処理から4~5週後とそれ以降	葉面散布	生長に合わせ70,100,150mℓ/10aと増量する。	1000~2000倍	3~4週おきに2~3回
	B 芽が地上部に現れたとき	株元潅水	350~400mℓ/10a	1000~2000倍	1回
草花	播種、挿し木床	潅水	―――――	5000~10000倍	1回
	定植時	潅水	―――――	5000~6000倍	1回
	定植時処理から3~4週たったら	A 葉面散布	30~40mℓ/10a	2000~3000倍	1~2週おきに7~10回
		B 土壌処理	125~150mℓ/10a	―――――	3~4週おきに3~4回
球根	ゆり：定植時	球根浸漬	―――――	2000~3000倍	1回
	：5~10葉期	土壌処理	250~300mℓ/10a	500~3000倍	1回
	：花芽分化期	葉面散布	―――――	2000倍	1回
	その他の球根：2~3葉期以降	葉面散布	100~120mℓ/10a	1000倍	2~3週あけて2回
ばら	定植時または採花直後	A 葉面散布	―――――	3000倍	1ケ月おきに2~3回 効果が出たら処理を2ケ月位休む。
		B 土壌処理	300mℓ/10a	―――――	3~4ケ月おき
らん	定植時	A 株全体浸漬	―――――	3000倍	1回
		B 潅水	―――――	5000倍	1回
	定植時処理から2ケ月位たったら	潅水	―――――	水苔床の場合 20000倍 礫の場合 5000~6000倍	2ケ月おき 効果が出たら2~3ケ月処理を休む。
落葉果樹（柿、さくらんぼ、梨、柿、ぶどう等）	A 2~4月(表土潅水)＋落花後（葉面散布）	表土潅水＋葉面散布	1ℓ /10a＋―――――	土の湿り具合によって300~3000倍表土潅水＋3000倍葉面散布	表土潅水1回＋落花直後から3000倍液を3~4週あけ1~2回葉面散布
	B 落花後	葉面散布のみ	―――――	3000倍 又は 5000倍	3000倍のときは3~4週おきに3~4回 5000倍のときは2~3週おきに6~7回
りんご（果摘み省力化を兼ねて）	落花後から	葉面散布のみ	―――――	前半3000倍 後半300~500倍	6~7月の間 3000倍2回＋7月下旬から8月下旬の間300~500倍1回
みかん（隔年結果防止を兼ねて）	2~4月(表土潅水)＋A 落花後（葉面散布）＋収穫直後(葉面散布)	表土潅水＋葉面散布	1ℓ /10a＋―――――	土の湿り具合によって300~3000倍液を表土潅水＋3000倍と1000倍葉面散布	表土潅水1回＋5月中に3000倍液1回＋収穫直後に1000倍液1回葉面散布
	B 4月上旬＋5月下旬＋収穫直後	葉面散布のみ	―――――	1000倍~3000倍	4月1000倍1回＋5月3000倍1回＋収穫直後1000倍1回
晩柑類	2~4月(表土潅水)＋A 落花後（葉面散布）	表土潅水＋葉面散布	1ℓ /10a＋―――――	土の湿り具合によって300~3000倍液を表土潅水＋3000倍葉面散布	表土潅水1回＋落花直後から3000倍液を1ケ月おきに4~5回葉面散布
	4月（葉面散布）＋B 落花後（葉面散布）＋収穫直後(葉面散布)	葉面散布のみ	―――――	4月：1000倍＋果実肥大期:3000倍＋収穫直後：1000倍	4月に1000倍液1回＋落花直後から3000倍液を1ケ月おきに4~5回＋収穫直後に1000倍1回
果樹苗木	春先又は移植時	株元潅水	1~3mℓ／本	1000~2000倍	1回
茶	A 2~3月	表土潅水	0.5~0.7ℓ／10a	土の湿り具合によって300~3000倍表土潅水	1回
	B 2~3月と摘採直後	葉面散布	―――――	3000倍	各1回
樹木	春先又は移植時	株元潅水	0.3~50mℓ／本	1000倍	樹高により処理量を変え年1回
芝	春先から	葉面散布	0.1~0.15mℓ／m²	1000~3000倍	3~4ケ月おきに3回
養液栽培	―――――	循環式、掛け流し式	―――――	10万~15万倍	1~1.5ケ月おきに加用

- ケルパック66処理時に、以下の製品を加用していただくとさらに効果が高まります。
  カルシウム不足には 当社の有機酸カルシウム剤『カルピタ』,『カルピタ-PK』,『カルマグホウ素PK』,『カルピタ-MPK』,『カルピタ-P』の何れか1つ。着色・肥大促進には『色一番E』。初期生育促進・樹勢回復には『元気一番』。
  成り疲れ防止、旨味強化には『アミノマリーン』。
- 水稲用ケルパック66には本田処理用の『ウエット粒剤』もございます。

注意事項

- 処理量が多過ぎると生育が抑制されるので、ご注意ください。
- どんな 肥料・農薬とも混用可能です。
- 冷暗所に保管して下さい。